

患者さんに寄り添う医療

新潟市民病院の総合診療内科で 1 か月間実習をさせていただきました。私はもともと感染症に興味があり、実習では幅広い臓器の感染症に出会い経験することができました。また国内かぎらず世界の感染症に精通している先生がいらっしやり、様々な経験を拝聴することができました。私自身が医師として成長するうえで参考になるお話だったため、とても貴重な機会となりました。

実習では、主に外来で新患患者さんの問診・診察を担当いたしました。問診には多少時間をかけてしまいましたが、丁寧に経過を追うことができたと感じております。頭で鑑別疾患をあげながら、それらに対応する身体診察をするのは、医師に求められる力としては基本的なことでありますが、実践してみるととても難しかったです。今後たくさんの医学知識を身に付けて、スムーズにこなせるようになりたいです。問診・診察が終了すると、指導医の先生方の外来見学をさせていただくのですが、全ての先生に共通していたことは、先生方が各々の患者さんに対する医師の役割を把握し、症状だけでなく患者さんの背景も含めて寄り添う姿が見られたことです。患者さんによって背景も違えば医師に求めていることも異なります。そのことを理解し把握して、患者さんによって向き合い方を工夫する姿が印象的でした。

1 か月間、医療だけでなく、「人と接するとはどういうことか」ということを学ばせていただきました。私も市民病院総合診療科の皆さんのような、患者さんを思いやり、信頼される医師を目指して邁進してまいりたいと思います。